

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (南関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・売上や来客数を管理しているが、暑さが続いたり気温が上昇すると、極端に数値が上昇する。
		一般レストラン（経営者）	・2～3か月先の10～11月は、8月よりは売上は良くなる。8月は1年間で一番暇な時期だが、10～11月は学校行事等もあるのでケータリングも含めて、売上は上がっていく。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・これから涼しくなって過ごしやすい時期になるので、出かける人が多くなり、売上が増えていくため、良くなる。
		旅行代理店（販売促進担当）	・秋の旅行シーズンになり、特に、法人の国内団体の予約が堅調に入っており、非常に期待できる状況にある。海外はあまり伸びていないが、トータルでは良くなると考えている。
		観光名所（職員）	・2～3か月後は秋の一番のピークとなる。今月よりますます人員が増えるとともに、来月は6年ぶりの長期のシルバーウィークを迎えるため、期待している。
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・これからの時期、祭りなどの工事や太陽光発電の仕事が決まっている。ただし、一般的な商品が動くかとなると難しいかもしれない。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・8月からプレミアム付商品券を総額26億円発行し、来年1月末までが有効期間なので、希望的観測だが良くなると期待している。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・今春より前年と比較して販売単価及び販売数量が微増してきている。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・まとまった案件の話が少しずつ出てきている。まだ決まるかどうかは分からないが、例えば、プライベートカードのまとめ買いやスチール家具物件といった話が出てきている。
		百貨店（広報担当）	・新店や地方都市店を中心に売上が前年を上回っており、この基調は続く。
		百貨店（営業担当）	・前年はないがウチョ、ポンチョ、ロングコート、中途半端丈コート、フェルトハット、フリンジデザインなどのトレンドアイテムが出てきており、たんすにないとの理由で数量増加、セットでの購入率上昇の動きがみられると考えている。
		百貨店（販売促進担当）	・天候次第ではあるが、秋のファッショントレンドは新たな傾向のアイテム投入もあり、少し動きがあるのではと予測している。ただし、重衣料の動きはまだ早いかもしれない。
		スーパー（経営者）	・種をまいているので、時期が来れば実がなるのは当然である。
		スーパー（店長）	・前年実績はクリアしているが、今年に入ってまだ1度も目標の予算に達成したことがない。予算を達成していかないと、自分の給料も従業員の給料も上がらないので、3か月後については今よりやや良くなってもらいたい。
		スーパー（総務担当）	・減少していた来客数が回復傾向にある。
		衣料品専門店（経営者）	・9月から発行されるプレミアム付商品券による景気刺激策で、消費は多少上がるのではないかと期待している。
		衣料品専門店（経営者）	・9月1日から始まるプレミアム付商品券でイベントを仕掛けて売上を増加させる。
		衣料品専門店（経営者）	・夏物バーゲンが不調だったにもかかわらず、例年より1週間ほど早く秋物が売れ始めたことで、少し明るさがみえてきたように感じる。
		家電量販店（経営企画担当）	・中国の景気対策が効くか分からないが、引き続きインバウンド需要は底堅いと考えている。一方、国内の景気は上昇トレンドを形成するとみている。この間、一時的な踊り場状態は避けられないとも想定している。
		乗用車販売店（営業担当）	・半期の決算があるため、期待を含めてやや良くなる。
乗用車販売店（総務担当）	・上期決算月にきちんと成果を上げられれば、上向きで推移するはずである。		
その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・政府の政策が正しいと思うからである。		
旅行代理店（従業員）	・8月3週目あたりから、秋の団体旅行の問い合わせ、予約の依頼が入り始めている。		
旅行代理店（従業員）	・個人旅行の販売が少しずつ上昇しているので、今後も伸びていきそうである。		
旅行代理店（営業担当）	・更に問い合わせが増える見込みである。		
タクシー運転手	・中国経済の不透明で為替市場の見通しが立ちにくい昨今だが、一方で、訪日外国人急増でホテルが満室などのニュースが流れているので、景気は良い方向に向いている。		

	タクシー運転手	・会社、病院、一般客のオーダーがやや増えている。特に多いのは病院の送り迎えであり、高齢者の利用が多いと感じる。また、会社では工業団地の地域で駅から会社、会社から駅の利用が増えている。
	通信会社（経営者）	・お金を持っているシニアが、秋になり消費に向かう。
	パチンコ店（経営者）	・当店の場合、客と機械との相関関係がある。来月、再来月と結構人気のある機械が出る予定で、今はあまり良くない状態なので、期待も込めて今よりは良くなる。
	設計事務所（経営者）	・2～3か月という長さではないが、将来の話として、客先からいくつかのプロジェクトが計画されていると聞いている。実際に当社へ仕事として来るかは分からないが、先の展望として予定があるということである。
	設計事務所（所長）	・今一步のところで進まないが、情勢の何かが変われば踏み出してくるのではないかと期待している。
変わらない	商店街（代表者）	・マイナスの要因は、近隣に大型ショッピングモールがオープンして、序盤戦だけ多少影響があるかと思っていたが、意外に影響がまだ続いている。特に、土日は影響力が大きい。また、プラスの要因としては、プレミアム付商品券の発行により、多少消費を押し上げていると感じている。
	商店街（代表者）	・今年の天候は異常で、若者でも大変だと思うが、高齢者にとって外に出ることが危険を伴うという感じもあるのでなかなか外に出ない。これから天候が良くなって動き出すようになれば、客が増える。
	商店街（代表者）	・株価を中心とした経済に関する数字が悪く、マインドが冷え込むと更に悪くなる可能性がある。ただし、イベントを予定しているものに関しては、まだ一般の客の意識は高いので、ひどく落ち込まないのではないかと考えている。
	一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・プレミアム付商品券の発売で多少の期待はあるものの、シルバーウィークなど連休が続くため観光等に消費され、来客数が少なくなるのではないかと考える。
	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・家電製品だけの販売で売上を上げるのは無理である。家電店も様々な商品、サービスを売っていかねば生き残れない。
	一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・秋のイベント、祭礼や特別な祭礼があるので、期待している。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・夏物商材は終わるが、プレミアム付商品券の影響がまだしばらく続くのではないかと考える。
	一般小売店〔靴・履物〕（店長）	・特に賃金などが増える兆しはなく、物価もそれほど上がらなくなってきているので、このまま変わらずに行ってほしい。
	百貨店（売場主任）	・中国経済の影響で株価が落ちてきている。また、中間所得層の給料は上昇しているものの、消費者物価も上がってきているので変わらない。
	百貨店（総務担当）	・陽気が良くなれば来店頻度も増え、秋物などのプロパー品が動いてくると思うが、傾向は大きくは変わらない。
	百貨店（総務担当）	・株価の下落が止まるまでは、消費が冷え込んだ状況が続く。
	百貨店（営業担当）	・来日外国人の購買が好調の一方で、国内客の購買は婦人服、婦人服飾品をはじめ全般が低調である。中国の金融不安も景気に影響しつつあるようである。
	百貨店（営業担当）	・メーカーがものづくりを前年より控えており、間違いなく中国を含む物価の上昇による原価アップがある。商品が少ない分、売上は厳しい。
	百貨店（販売促進担当）	・夏季賞与の上昇といったプラス要因により、単価の上昇がみられたと考えられるものの、食料品の値上げや中国経済の失速といったマイナス要因もあり、心理的に綱引き状態ではない。
	百貨店（店長）	・ここ数日の株安などから、消費の落ち込みが未知数である。インバウンド需要の陰りなどの不透明感がある。
百貨店（店長）	・経済面で明るい材料が表れるまでは、この流れが続く。	
百貨店（副店長）	・食料品の値上げイメージはあるものの、賃金等の安定感もあり景気動向は変わらないのではないかと考える。秋の商材、特に、婦人衣料関連については動向を注視したい。	
スーパー（販売担当）	・競合との価格競争もあり、重点商品、ナショナルブランドの値段が下がる傾向にある。客1人当たりの買上点数は前年を上回っているが、1人当たりの売上額になると前年を下回る状況がまだ続いている。	
スーパー（経営者）	・現状のまま変わらない。スーパーは全般的にそれほど悪くはないが、競合状況により左右される。また、最近単価が若干上がっており、客が慎重な買物をしていることから、今後、下振れするかもしれない。	

スーパー（店長）	・プレミアム付商品券の販売を控えており、一時的な起爆剤にはなるとは思うが商品券を使い切ってしまうと元どおりになってしまうため、慎重な消費動向を変えられるほどの要素はない。
スーパー（店長）	・基本的に販売量は減少傾向にある。販売量の減少とは逆に、おいしい物、価値のある物の購買がみられる。また、量は食べ切りなどで減少傾向にある。
スーパー（総務担当）	・頻度性の高い商品については売上が伸びている。また、青果物等については相場が上がっていることで売上が伸びているが、他店との価格の比較がしやすいナショナルブランド商品については、客の見る目が非常に厳しくなっている。今後、天候与件が非常に影響すると思うが、決して客の財布のひもが緩んでいるということはない。
コンビニ（経営者）	・夏場のため来客数は増えているが、単価は減ってきている。秋口になると客が減っていく。
コンビニ（経営者）	・気温に左右されやすく、不確定な要素が沢山ある。
コンビニ（経営者）	・天候や中国経済が不安要素になる。
コンビニ（経営者）	・天候次第で販売品目は大きく変化することもあるが、売上、販売額は急変することはない。
コンビニ（経営者）	・来月はシルバーウィークがある。当店は連休になると少し暇になるので、長期休暇は当店にとってプラスではないが、何とか来客数を維持して前年比を確保したいと考えている。来客数の確保は何とかなりそうだが、客単価が若干下がって現状維持と予想している。
コンビニ（エリア担当）	・天候による影響は少なく、大きな変化はなさそうである。ただし、直近の株安の影響次第では購買が鈍る懸念がある。
衣料品専門店（経営者）	・大きな起爆材に欠け、残暑等の影響で秋物商戦の立ち上がり不安である。このままずっと厳しい状況が予想される。
衣料品専門店（経営者）	・変わらないと回答したが、実際は分からないというところである。当地域では9月からプレミアム付商品券が発行されるので、買い控えがあるのかもしれない。来月以降、その効果がどれだけあるかは未知数なので、様子を見たい。
衣料品専門店（統括）	・客の買物マインドが2～3か月で変化するとはなかなか考えられないので、今の状態が続く。
家電量販店（統括）	・急激な世界株安が年末にどのように影響するのか未知数である。特に、インバウンド消費に急ブレーキがかかる可能性がある。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売はあまり芳しくない。地方活性化のためにプレミアム付商品券が発売されているが、自動車販売の活性化には、あまりなっていない。
乗用車販売店（経営者）	・新型車が出てあまり来店客が増えてきていない。
乗用車販売店（渉外担当）	・新型車の受注が好調ななかで、総受注はわずかに前年プラス5%で推移している。来客数も目に見えて多くはなく、個人消費は良いとは言えない。法人需要及び個人ではミニバンがやや良いが、総体的には景気は変わらない。
その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・何もしなければ落ちるだけなので、仕掛けをして前年並みである。
その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・景気の先行きが見えないので、変わらない。
その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・特に大きく市場環境を変えるような動きは今のところない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・売上が好調な理由の1つに地域で発行しているプレミアム付商品券の影響がある。それがないと今ほどの状況ではないと考えている。
高級レストラン（副支配人）	・法人関連を中心とした宴会予約状況から判断し、変わらない。
高級レストラン（仕入担当）	・円安による食材等の値上げが続いているが、販売価格に反映させて値上げできるほどの勢いが感じられない。
一般レストラン（経営者）	・今まで地域的にローカル感があったが、新規参入店はそれを払しょくするような洒落な外観で、街並みも少しずつ変化している。
一般レストラン（経営者）	・今と不況の原因は変わらないが、3か月後は段々涼しくなって、人の流れが多少良くなってくる。しかし、また消費税の話題などが出てくると財布のひもが固くなり、消費も悪くなってくる。
一般レストラン（経営者）	・客の仕事の様子を聞いていると、仕事が途切れる様子はなく、横ばいより少し上ぐらいの感じで景気が推移しそうである。
一般レストラン（スタッフ）	・それほど動きがないような気がする。

都市型ホテル（スタッフ）	・トップシーズンとなるが宿泊以外は月によって予約にばらつきが目立ち、前年同様、厳しい状況が続いている。例年からすると今後、急激に予約が伸びることも考えにくく、また、動きも鈍いため今月より景気が良くなるとは考えられず、何も変わらない。
旅行代理店（経営者）	・客からの問い合わせはそこそこあるが、なかなか販売に結び付かない。シーズンオフと同じような状況が続くので、変わらない。
旅行代理店（経営者）	・株価、為替の乱高下で、先行きは不透明である。
旅行代理店（従業員）	・世界株安で先行きが不透明である。
タクシー運転手	・夏休みが終わり、年末、冬休みに向けてこれから様々な動きが出るところだが、皆がどちらに向かっていこうかとまだ迷っているようである。
タクシー運転手	・大手のサラリーマンも残業するまでの仕事はないようで、最近では会社の好景気を感じない。毎年のように8月は落ち着いた、好景気を感じない月であり、将来の見通しが立たないような状況である。
通信会社（社員）	・今年に入ってから順調に目標を達成してきているが、ここにきて伸び率の鈍化と解約の増加が懸念される。しかしながら、解約に対する施策がうまくいけばこのまま維持できると考えている。
通信会社（営業担当）	・現在の水準を維持して推移していく。
通信会社（営業担当）	・電話サービスを2014年4月から始めたが、客の契約も一服したように思う。これからはインターネットやケーブルテレビとのセット契約や大手通信会社とのコラボレーションによる新サービスの強化が必要である。
通信会社（営業担当）	・ここ数か月、契約量、価格帯に変化がない。
通信会社（管理担当）	・余暇に対してお金を使う傾向は底堅く、今後も継続する。同時に、MVNO（仮想移動体通信事業者）をはじめとした最新の通信サービスについても、50台以上のユーザーにも理解が進み、良いものを安く利用する知恵も浸透していると感じられる。
通信会社（局長）	・9月にアメリカの映像ストリーミング配給事業会社が日本の通信事業者と組んで日本でサービスを開始するが、当面はあまり期待できないと考えている。また、2016年4月から開始される電力小売完全自由化への期待が高く、その予約開始の2016年1月から様々な動きが出てきそうな感じがする。
通信会社（営業担当）	・景気向上を期待させる材料は見当たらないが、期待を込めての現状維持ではないか。
通信会社（経営企画担当）	・客からの新規商談に変化がない。
ゴルフ場（支配人）	・来月よりコースの半分を改造するため、残りの半分での営業を余儀なくされるが、来場予定数は半数ではなく、6割程度となる見込みである。
その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・さほど変化もなく、同じような景気が続く。年末に向かった消費動向がみられるかもしれないと期待しているが、小売店にとってますます厳しい経営が試される。
設計事務所（経営者）	・行政の仕事が全体的に金額が小さくなってきている。当社は入札で仕事を取っているが、全体として規模が小さくなってきている。仕事を取り合う傾向があり、宝くじを引くような感じで、仕事が減っている。民間の仕事に切り替えたいが、先行きの見通しが悪い。オリンピック関連の景気は全くなく、先がみえない。
設計事務所（経営者）	・周りを見ても状況が良くなる要素は見当たらない。ただし、これ以上悪くなることも考えにくいので、しばらくはこのままの低空飛行が続く。
設計事務所（職員）	・東京オリンピックに向けた直接的な施設とは別に、関連して収益を狙う施設をオリンピック前までに完成させる計画が見受けられるが、景気を左右するほどではなさそうである。
住宅販売会社（従業員）	・夏休み時期の来客数も特別大きな変化はなく、住宅展示場や資料請求等の内容、数量共に3か月前と大きな変化はなく、不足している。
住宅販売会社（従業員）	・夏休みが終われば、子育て世代の客の動きが出てくる。また、気候が良くなるとともに動きが出てくるので、2～3か月後の販売量に結び付いていく。
住宅販売会社（従業員）	・契約数は変わらないが情報数が落ちているので、今後は厳しいかもしれない。
住宅販売会社（従業員）	・土地の仕入がうまくいけば、投資家や客の動きも良いので良い方向に進んでいく。仕入状況が当社の景況感に大きく影響していきそうである。

	住宅販売会社（従業員）	・事業部門によりまだら模様の状況が続く。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・中国経済の減速がいよいよ真実味を帯びてきた今、日本経済もつられて景気減速するのではないかとの疑心暗鬼で、購買意欲がより低調になるのではと危惧している。
	一般小売店〔茶〕（経営者）	・8月は猛暑と最近の物価高、前年の消費税増税で買い控えが依然続いている。来客数、売上共に前年を下回っている。
	一般小売店〔家具〕（経営者）	・中国の経済がおかしくなってきたり、また、物がすでに飽和状態になっている。消費税が10%になるなど、先行きの良い情報がないので、悪くなるような気がする。
	一般小売店〔米穀〕（経営者）	・国内やグローバルな問題がいろいろ交錯しており、株の乱高下もあるので、冬場に向けてどうなるのか、安定するとは思えない。一時的に悪くなり、オリンピックに向けて良くなっていくような気がする。
	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・会社用のお茶の売上が前年同月より下降している。客へ注文を取りに行っても、まだ少し在庫があるので、少なくなったら注文すると言われ、お茶を飲むペースも遅く、販売額が伸び悩んでいる。
	百貨店（総務担当）	・必要ないものを購入しない傾向は続く。
	百貨店（広報担当）	・中国の景気が悪化し、それにつられて国内株価も大きく上下しており、為替も円高傾向にある。直ちに国内景気が悪化するとは思わないが、現状、百貨店売上を支えている高額所得者層の買い控えが懸念され、近い将来、客単価の下落、売上の悪化という厳しいシナリオが懸念される。
	百貨店（営業担当）	・現在の売上はインバウンド需要に頼っている部分が多く、特に、アジア系の増加が目立っている。ただし、中国経済については先行き不透明な面が多く、予断は許さない状況である。国内消費については食料品はほぼ横ばいを堅持していることから、今後も堅調に推移する。
	百貨店（営業担当）	・中国の景気減速によって株価が下がり、ストックを持っている客層が高額品の購買を現状ほどしない可能性が出てきているため、やや悪くなる。
	百貨店（販売促進担当）	・中国経済の失速とそれによる世界的な株価暴落で、現状と同様の消費行動は期待できない。
	百貨店（営業企画担当）	・中国の景気が不透明ななか、国内の株価にも影響が出てきており、これまで好調だったインバウンド、富裕層の客へのビジネスも悪化することが想定される。
	スーパー（経営者）	・株価の影響により、やや悪くなる。
	スーパー（仕入担当）	・中国ショックの影響は大きく、円高に振れて為替の影響のある輸入品には多少良いが、世界的な不況に陥る可能性が懸念される。
	コンビニ（経営者）	・世界的な経済不安、日本の株価の乱高下等をみると、数か月後も良いとは思えない。
	コンビニ（経営者）	・株価下落のニュースがあり、株を持たない人への影響も考えられ、景気が上昇するとは思えない。
	コンビニ（経営者）	・日本も含めて、世界の企業や株価などに破たん、下降傾向がみられるので、やや悪くなる。
コンビニ（経営者）	・コンビニは夏場が最大の売上になるので、これからはなだらかに売上が下がる。	
コンビニ（経営者）	・コンビニは出店が多いため本社としては利益が出ていると思うが、加盟店にとっては店舗数が周りに増えてきたために非常に厳しい状況である。24時間営業を行っているが、雇用も大変厳しくなっている。売上が低迷し、最低賃金の引き上げがあって大変である。	
コンビニ（商品開発担当）	・来客数の増減については天候要因に起因することが大きいので、現時点では回復傾向にあるものの、単価については上昇傾向にないため、やや悪くなる。	
衣料品専門店（店長）	・比較的天候には恵まれたのに、前年同時期と比べて来客数が良くなかった状況を考えると、しばらくは前年と比べて売上が向上するような状況にはない。	
乗用車販売店（販売担当）	・中国の株安で全体的に落ちてくるのではないかという不安がある。また、オリンピックの建築関係については、それを目当てにダンプカー、クレーン車、ミキサー車を購入していた客が見直して足止め状態であるため、ここ数か月間、若干景気が悪くなるのではないかとみている。	
乗用車販売店（店長）	・景気が不安定のため、今後の動向に疑問を感じる。	
住関連専門店（営業担当）	・リフォーム業界では省エネ住宅に関するポイント制度の予算枠消化による効果切れが予想され、大型工事の件数が減少する。	

住関連専門店（統括）	・今のところ景気が回復する要素は見当たらない。また、株式等も値下がりしており、そういった面からも、消費が低減する状態がまだ続くのではないかと。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・昨今の世界経済減速説に翻弄され、消費マインドが低下するような報道が連日されている。将来に対する不安感が再燃するのではないかと。
その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・仕入先である荷主が出荷調整して高値にしていることと、消費者が生活必需品にお金をかけなくなってきたことから、やや悪くなる。
一般レストラン（経営者）	・相変わらず仕入単価の上昇、人手不足による人件費の高騰で厳しさが増してきそうである。マイナンバー制度についても経費増につながってくる。
一般レストラン（経営者）	・毎年夏が終わると秋口は売上が下がるが、今月はプレミアム付商品券で前年と全く違う状況だったので、もしかしたらやや良くなるのかもしれないと期待している。
一般レストラン（経営者）	・中国経済の失速による世界株安が、しばらく続く気配を感じる。また、それに関連して円安が更に進む状況が非常に考えにくくなっている。
都市型ホテル（支配人）	・中国経済の先行きが不透明である。
都市型ホテル（スタッフ）	・中国を中心として株価が不安定になっているため、非常に動きが悪くなる。
都市型ホテル（スタッフ）	・今月は繁忙期なので、2～3か月後は少し下がっていく。
都市型ホテル（総務担当）	・中国に始まった株価下落等、世界的な景気後退への懸念がある。
旅行代理店（従業員）	・2～3か月先の販売量が前年比80%しか伸びていない。
タクシー（経営者）	・消費税増税に向けて買い控えが起こりそうである。
タクシー（団体役員）	・直近の世界同時株安の影響が出てくる。
通信会社（経営者）	・9月より新規オンライン配信事業社が営業を開始し、安価な料金でスマートフォン、タブレットによる映像視聴ができることから、若年層が移動することが予想され、CATV営業が厳しくなるとみている。
通信会社（経営者）	・中国の景気減速に引っぱられて世界景気が不透明となるなか、日本の景気の先行きも悪化しそうである。
通信会社（総務担当）	・為替運動による諸物価上昇の抑制があまり期待できず、継続して悪化する。
ゴルフ場（従業員）	・日本人の誠実かつ勤勉さがオリンピックで発揮できるところか、その逆になっている。日本人本来の真面目さ、誠実さを取り戻し、世界に誇れる日本を再生しないといけない。
ゴルフ場（支配人）	・来場客との日常会話も含めて物価と所得を比較し、可処分所得が目減りしているなかで趣味、レジャーの支出金額は抑えられ、現に値引き要求が多く出ている。
その他レジャー施設（経営企画担当）	・株安、円高が影響し、インバウンドの減少などが起こる可能性がある。
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・塾業界でも生徒の取り扱い状態が続いている。夏季講習では総時間数を延長し、料金は据え置きでやっている。入塾する人数は多少減っており、景気もあまり良くない。今後下降気味になっていく。
その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・株安等の動きもあり、当面は客の購買意欲が若干衰える。
その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・来客数が減ってきているため、やや悪くなる。
設計事務所（所長）	・通常だと予定されている物件は上期で具体化され、発注されるのが普通だが、今年度は特に民間ではそういう状況にない。商談も全くない。
設計事務所（所長）	・仕事量が多くなるというような見通しはなかなか厳しい。オリンピックで景気が良くなるのは都心に限られており、地方まで影響はなかなか出ない。
その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・客に先々の物件情報を確認してもはっきりとした答えが戻ってこない。現状維持も難しい状況が迫っていると感じている。
悪くなる	
一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・競合店の改装が終われば増床されるため、以前よりも影響が大きくなる。
スーパー（営業担当）	・大幅株安、更に急激な円高で世界的な影響が危惧され、更に日本の経済にも大きな影響を及ぼし、また、小売業にとっても非常に大きな足かせになってくる。
衣料品専門店（営業担当）	・とにかく人出がない。街に魅力がなくなり、退店する店が多く、新規店もなかなか見つからず、歯抜け状態が続いているショッピングセンターになっている。

		一般レストラン（経営者）	・現政権はTPPをおろそかにして、安保安法案等、まるで江戸時代の幕末の井伊大老のような何かこう崩れていくしかないような気がする。中国もそれに近い気がする。景気が日本だけではなく、良くなることはないのではないと思う。
		タクシー運転手	・良くなる材料が見当たらない。
		住宅販売会社（経営者）	・大企業の従業員は多少所得が増えつつあるかもしれないが、中小企業の従業員は全く増えずに、物の値段が上昇しているため、購買意欲が激減しているようである。何とか中小企業にもベースアップができるように景気を回復させてほしい。消費税については一律ではなく、物によって多少考えてもらえるとうれしい。住宅は免税にしても良いのではないか。
企業動向 関連 (南関東)	良くなる	その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・マイナンバー制度などが控えており、営業が動いているため、良くなる。
		食料品製造業（経営者）	・一進一退の状況だが、今後に続きそうな話が出てきている。
	やや良くなる	食料品製造業（経営者）	・8月末にプレミアム付商品券が発売されるため、消費は良くなる。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・例年どおりであれば、時期的に受注量が増加する。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・店頭で会社設立の客が来店しており、今月納品した上場企業は、通常ゴム印が各セクション1～2個といった発注であるが、組織変更もあり、10個以上の納品であった。今月は特需である。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・景況感の良さがまだサービス業、特に、理美容界には来ていない。ただし、消費者マインドが上がると期待できる。
		金融業（従業員）	・取引先企業では、建設業を中心に売上、収益の改善傾向が継続している。ただし、小売業では業況回復のペースが鈍い事業者も多く、依然として個人消費の弱さも感じられる。
		不動産業（総務担当）	・オフィスビルは年内、満室稼働で推移する見通しが立っている。
		税理士	・アメリカの景気が少しずつ回復してきて、日本車が売れている。一方、中国は経済や不動産などが不安定である。日本国内をみると、円安効果もあり、やはりアベノミクス、政治が主導して、景気を押し上げているので、やや良くなっていく。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・2号警備業務（交通警備）では先行き不安なので、新規事業に取り組む。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・夏期休暇の時期も終わり、受注の増加を見込んでいる。
		変わらない	出版・印刷・同関連産業（総務担当）
化学工業（従業員）	・国内での受注状況はあまり変化がなさそうだが、中国向けの先行きの受注にやや減少傾向がみられる。しかし、大きくは影響しないものとみている。		
プラスチック製品製造業（経営者）	・全体として株価が不安定で、世界の経済情勢をみても、これから良くなっていくようには見受けられず、3か月先も変わりはない。		
プラスチック製品製造業（経営者）	・下半期に向けて新企画立ち上げの兆しはあるが、実行されないと非常に厳しい。		
金属製品製造業（経営者）	・当分の間は安い仕事でもやるしかないと感じている。		
金属製品製造業（経営者）	・得意先の下期計画が現在より若干上がる計画になっている。		
一般機械器具製造業（経営者）	・他社も含めて、仕事量が少なく、新しい仕事を受注するために単価競争して獲得したものが、これから立ち上がる。忙しいが、利益なき繁栄のようである。		
その他製造業〔鞆〕（経営者）	・良いところと悪いところの格差があり、当社の得意先は企業努力もあると思うが、かなり好調な動きをみせているので期待したい。		
建設業（経営者）	・景気対策がうまくいっていない。		
建設業（経営者）	・マスコミがひどすぎるので、もっと良いニュースを報道してほしい。		
建設業（経営者）	・株安の影響がどこまでなのか。公共工事も大分少なくなりつつあり、心配である。		
建設業（従業員）	・見積を提出している得意先の様子から、変わらない。		
建設業（営業担当）	・中小規模の建設案件が増えており、それらを施工できる業者が少なく、最近、設備投資案件がエリアを拡大して情報が入ってくるようになってきている。		

	建設業（経理担当）	・地元で好景気という話はあまり聞こえてこない。来社する金融機関からも、業績が良いところの話は耳に入ってこない。
	輸送業（経営者）	・荷主の話で良いというような話が全くなく、いつどうなるのか分からないという話ばかりなので、どうしたらよいのか迷っている。
	輸送業（経営者）	・9月以降も祝日等の増加により稼働日数が減少する。また、特段の改善事項も今のところみえないため、低迷した状況が続く。
	輸送業（経営者）	・天津港の爆発事故の影響がじわりと効いてきている。ただし、日本国内の景気はまだ順調なため、相殺して変わらない。
	通信業（広報担当）	・マイナンバー制度関連の需要もあり、当面はこの水準を維持する。
	金融業（統括）	・中国景気の不安定さが非常に大きく、インバウンドや輸出も不安材料が多いため、それほど大きくプラスにはならない。
	金融業（支店長）	・国内景気は企業業績からもさほど悪くはない。世界的な株価下落の影響も一時的、限定的なものとなるとみている。
	金融業（営業担当）	・株価の乱高下による不安定さから、消費的にも伸びるといような方向性ではない。不動産業等が少し止まりかけていることもあり、それほど伸びない。
	不動産業（経営者）	・秋になって状況が良くなることを祈るのみである。
	広告代理店（従業員）	・受注予定や販売額等、変わらず推移している。
	社会保険労務士	・良くなる要素が見当たらない。
	税理士	・今年一杯はこのまま横ばいで推移する。夏休みの海外旅行や国内旅行は順調でお金の動きは良い。ただし、それほどの好景気もない。
	経営コンサルタント	・商店街の飲食店経営者は、「家族連れ客の多い店で、例年、夏休みは来客数が増えるシーズンだが、今年は天候不順で想定外の数字である。この結果が今後尾を引き、苦しくなるのではないかと。食材費の値上げや人件費上昇への対応は夏休み後と考えていたが、困っている」と話している。
	経営コンサルタント	・大企業の利益拡大の影響が多くの中小企業、消費者に波及するのが極めてゆっくりである。理由は不明だが、先行きの見通し不明瞭、人口減少などが響いているとも考えられる。
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・客の発注間隔の長期化や価格競争に加えて、人材確保の課題もあり、悪い状態がしばらく続く。
	その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・中国経済の低下傾向によって、すべての面で日本も影響を受ける。
やや悪くなる	食料品製造業（営業統括）	・残暑需要を期待していたが、早々と秋の冷たい風が入ってきており、販売量の動きの活発化が見込めない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・今まで景気に勢いを感じられなかったが、更に世界同時株安で景気の先行きに不透明感が出てきている。しばらく部品や仕入は慎重にならざるを得ない。様子見である。
	輸送業（経営者）	・総体的にみて、景気が上昇に向かっていくというような具体的な数値はあまり出ていない。
	輸送業（総務担当）	・鉄鋼関係は輸出が順調である。しかし、住宅、鉄鋼共に国内出荷量は低迷しており、今後も続く見込みである。
	輸送業（総務担当）	・新規案件の受注が厳しいなか、人件費等の上昇など、収益面の悪化が懸念される。
	金融業（役員）	・海外要因、特に、中国の動向が心配である。製造業を中心に下半期の生産計画を見直す動きが出ている。
	広告代理店（経営者）	・今月やや良くなっているとしたのは懸案案件が実現したからで、あくまで単発であり、削減された年度予算の盛り返しにはまだ別途、新規案件の開発が必要であるが、そのめどは立っていない。
	広告代理店（営業担当）	・中国の経済動向が気になる。クライアントのメーカー、サービス企業の売上が減ると当社にも大きく影響してくる。
	経営コンサルタント	・株価下落などで景気動向の先行きが不安になるため、やや悪くなる。
	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・10月に最低賃金が増えるので人件費を少し上げた見積を出しているが、現行単価のままで成約している状況である。原価率が悪くなるのが気になる。
悪くなる	出版・印刷・同関連産業（所長）	・9月のシルバーウィークを控え、大型連休間際の駆け込み案件は多少想定されるが、それ以外は目立った受注案件もみえず、厳しい状況である。
	電気機械器具製造業（経営者）	・景気の見通しが全く予測できないような不安定な状況にあるため、良くなるとは考えられない。

		精密機械器具製造業（経営者）	・ 9月ショックが叫ばれているなかで受注量がマイナスとなっており、中国による世界金融不安も不安要素である。中小企業の経営には決して大きな改善はない。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・ 中国の減速による株価下落のため、悪くなる。
雇用 関連 (南関東)	良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・ 募集時の平均時給単価が上昇傾向にある。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・ 下期に向けて退職者の補充枠等で派遣依頼が増えることが見込まれる。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・ 今年中に正社員を採用して、来年度に向けて大幅に動くというような話を数社から聞いている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・ 求人動向から、やや良くなる。
		職業安定所（職員）	・ 正社員求人数が前年同月比で今月も2けたの増加率になり、就職件数も前年同月比で3か月ぶりに増加となっている。
		職業安定所（職員）	・ 新規求職申込件数は平成22年度以降、減少が続いており、4～7月でも前年比マイナス7.8%となっている。また、新規求人数は平成22年度以降、26年度は前年度の大幅な増加による減少があるものの、増加傾向で推移しており、4～7月でも7.4%となっている。
		学校〔大学〕（就職担当）	・ 9月決算の時期なので、やや良くなる。
変わらない	人材派遣会社（社員）	・ 中国経済をはじめ、外的要因による国内経済への影響を懸念している。国内については依然として求人市場は大手から中小まで活況である。ただし、企業の人材不足感が深刻化しており、今後、国内の景気上昇の足かせとなることを懸念している。	
	人材派遣会社（社員）	・ 景気が良くなる要素が思いつかない。	
	人材派遣会社（支店長）	・ 派遣受注数は堅調に推移する見込みだが、ミスマッチによる成約率が悪化してきているため、見通しは変わらない。	
	人材派遣会社（営業担当）	・ 求人数は増えてはいるが、労働者派遣法の影響がどう出てくるのか未知数である。	
	人材派遣会社（支店長）	・ 求人、求職共に前月並みである。	
	求人情報誌製作会社（広報担当）	・ 雇用はやや増えているが、景気回復に直接つながるとはあまり思えない。	
	職業安定所（職員）	・ 8月後半の株式市場の動きが不透明なことから、採用活動を活発に行っていた企業が今後どのように反応するか、判断が難しい。株式市場が落ち着けば、人手不足感から現在の雇用情勢は維持されると考えられるが、落ち着かない場合、先行き不透明感から抑制的な行動をとる企業も出てくると予想され、この先景気が良くなるか、悪くなるかの判断がつかない。	
	職業安定所（職員）	・ 介護関係と一部の業種は人手不足を訴えているが、それ以外の業種はここ数か月状況が変わっていない。	
	民間職業紹介機関（経営者）	・ 年末に向けての採用計画が策定されつつある。引き続き採用意欲は高水準のようである。	
	民間職業紹介機関（経営者）	・ メーカーのクライアントが多いが、安定した成長の継続力が弱いのではないかと。中高年齢者の購買意欲の向上が必要である。	
民間職業紹介機関（職員）	・ 大手を中心に新卒採用の活動は終了段階であるが、時期のずれにより8月に大きく学生が動いたことで新卒確保がうまくいかない企業が出てきており、中途採用で補完していく動きが出ていることも踏まえると、引き続き採用は活発である。		
やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・ 経営者の方々と話をしたが、中国市場が株価を含め、非常に不安定で、この先、見通しが暗いという声が多い。	
	職業安定所（職員）	・ 中国の景気減退で、やや悪くなる。	
悪くなる		-	-